

消費税の増税に反対し、食料品非課税を求める請願

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

年 月 日

請願趣旨

私たちのくらしは、収入が落ち込み、医療・年金・介護などの負担が増えて苦しくなるばかりです。

消費税は、導入時も、5%への引き上げの時も、現在も「社会保障のため」「国の財源が大変」などが増税の理由とされてきましたが、医療や年金などの社会保障は削られ、国の財政赤字は膨らみ続けています。

社会保障財源を確保するには、大企業・大資産家向けにこれまでおこなわれてきた減税を元に戻すとともに、ムダづかいをきっぱりとやめ、税金の使い道を福祉と国民のくらし優先に変えるべきではないでしょうか。

政府は2011年度からの消費税増税をねらっていますが、消費税が増税されれば、国民の消費が落ち込み、地域経済はあっという間に悪化してしまいます。そもそも消費税は大金持ちには負担が軽く、所得の低い人ほど重くなる、最悪の逆進的な税制です。増税が「貧困と格差」をいっそうひどくすることは明らかです。

今求められているのは、減税して家計を応援することです。イギリスが付加価値税を引き下げたように、日本でもできないはずはありません。

私たちは、国民のくらしや家計を守るため、消費税の増税につよく反対するとともに、食料品など生活必需品を非課税にするなどくらしにかかる消費税を減税することを求めます。

請願事項

- 1、消費税の増税は、やめること
- 2、食料品など生活必需品を非課税にすること

氏名	住所

日本共産党埼玉県委員会